

# たけの里



本市では、特産品として三百年以上も農家の手によって支えられてきた“光るような白さと軟らかさ、そして風味”をもつ最高級のたけのこが生産されています。これは毎年“敷わら”“土入れ”を行う事によって土地がかさ上げされ、地下茎から芽を吹いたたけのこがより長く地中で生長するようにした先人から受け継いだ技術によるものです。

一方、竹林としての利用にも様々な工夫がなされています。生長途中の竹に木の枠をはめて四角にした角竹(かくちく)、表面に模様をつけた図面竹(ずめんだけ)、火であぶり青味を抜いた晒竹(さらしだけ)…。こうした竹は総じて京銘竹と呼ばれ、昔から様々な分野で活用されており、その加工技術は現在にも受け継がれています。



# 「長岡京」の都

長岡京の研究は、「日本後紀」で長岡京時代後期の記述を欠くなど、基本的な材料が乏しかったため、明治40年代(1908)喜田貞吉によって、ようやく研究が始まったとはいえ、限られた史料で描かれた都は、その短命さも手伝って、「未完の都」、「幻の都」と表現されてきました。

そのような折、喜田貞吉の研究より約50年後、中山修一によって長岡京の研究は飛躍的に発展をします。中山は、歴史地理学の立場から、長岡京の痕跡を現地に求め、昭和30年に初めて長岡京に発掘調査というメスを入れ、現実の都であることを示しました。

その発掘調査方法は、まず「類聚三代格」記載の宅地名を現地で比定し、長岡京の条坊図を復原、その後、この復原図をもとに、大極殿、朝堂院、内裏など主要な遺構を次々と発見し、長岡京の存在を確定的なものにしました。これらの主要な遺構は、現在でも、国の史跡として指定され保存されています。

度重なる発掘調査により、文献史料には残っていない都の実像が日々解明されていく長岡京。今もなお新事実が一つ明らかにされていくたび、また新たな謎や課題も生まれていますが、一時は「幻の都」といわれた長岡京は、その全貌を徐々に見せ始めています。都があったこの向日市で刻一刻と姿を現していく長岡京に、皆さんも思いを馳せてみてください。



# 向日市歳時記

## ■親子竹馬教室・たけうま全国大会(1月下旬)



「親子竹馬教室」は親子で竹馬の作製から乗るまでを体験できます。「たけうま全国大会」では速さを競う30m走と障がい物競争である竹馬サスケの2種目で竹馬の技術を競い合います。年に1度全国から竹馬名人が向日市に集い、メディアも注目するイベントです。

○会場: 向陽小学校  
○主催: 向日市商工会青年部  
○協賛: 向日市観光協会

## ■桜まつり(4月上旬)



向日神社には「ソメイヨシノ」「山桜」「枝垂れ桜」「楊貴妃」など様々な種類の桜があり、乙訓の桜の名所として知られています。毎年4月初旬に開催される桜まつりでは、満開の桜とともに野点や琴の演奏などの催しをお楽しみいただけます。

○会場: 向日神社  
○主催: 向日市商工会

## ■竹の径・かぐやの夕べ(10月下旬)



水ろうそくを浮かべた4,000本の竹筒が竹林を幻想的に照らすイベントです。第6向陽小学校では、太鼓やお琴、ジャズの演奏が行われるステージや、おいしい和菓子などを食べられる飲食コーナーが設けられます。

○会場: 竹の径及び第6向陽小学校周辺  
○主催: 向日市観光協会

## ■向日市まつり(11月中旬の土日)



毎年向日町競輪場を会場に5万人が参加する向日市最大のイベントです。新鮮野菜が揃う農業コーナーや、地元商店による商工コーナーでは地元産品の販売や展示が行われ、また特設ステージではヒーローショーや市民による発表など多彩な催しが行われます。子どもから大人までお楽しみいただける2日間です。

○会場: 京都向日町競輪場  
○主催: 向日市まつり実行委員会

月	内容	場所
1月	1日(元旦)	初詣 向日神社
	下旬	親子竹馬教室・たけうま全国大会 向陽小学校
2月	3日	節分祭 向日神社
	最初の午の日	勝山稲荷社 初午祭 向日神社
3月		
4月	上旬	桜まつり 向日神社
	3日	花まつり 石塔寺
5月	第2日曜	鶏冠井題目踊り(府指定無形文化財) 石塔寺
		氏子祭(還幸祭) 向日神社
6月		
7月	31日	夏越の祓 向日神社
8月		
9月	15日	御火焚祭 向日神社
	下旬	竹の径・かぐやの夕べ 竹の径
10月	11日	大極殿祭 大極殿公園
	中旬の土・日曜	向日市まつり 向日町競輪場
12月		

# 向日市の人文資源・自然資源

向日市は古墳時代以前から人々が生活し、西暦784年に長岡京の都として日本の政治が営まれた深い歴史をもつ地です。また、良質のたけのこの生産地として知られ、豊かな竹林には竹垣を連ねた竹林道「竹の径」があります。

## みやげもの・特産品

竹加工品(竹細工・竹製品)、たけのこ加工品(缶詰・佃煮・和菓子・洋菓子)  
たけのこ料理、たけのこ・なすなどの農作物  
けんがい菊・ポインセチアなどの鉢花や花壇苗

## レクリエーション・見学施設

(市内)  
向日市文化資料館 075-931-1182  
向日市天文館 075-935-3800  
公益財団法人向日市埋蔵文化財センター 075-931-3841

(市外)  
京都市洛西竹林公園(毎週水曜日休園、無料) 075-331-3821  
ホテル京都エミナス(宿泊施設) 075-332-5800

## ■むこう愛菜市 ※売り切れ次第終了

- 毎週土曜日午前8時30分～9時 保健センター
- 毎週火曜日午前8時30分～9時 市民温水プール
- 毎月1回午前10時ごろ～ 京都向日町競輪場

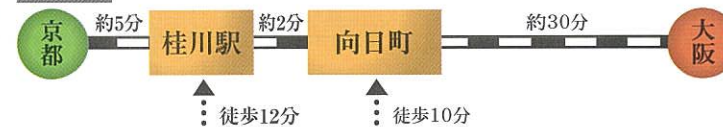
## 交通機関

### ■マイカー(名神高速道路)

名神高速道路大山崎JCT・ICから国道171号を京都方面へ(約15分)  
名神高速道路京都南ICから国道171号を通りすぎ、西へ(約20分)

### ■電車

JR京都線



阪急京都線



### ■交通機関のお問い合わせ

- JR西日本お客様センター 078-382-8686
- 阪急桂駅(「洛西口駅」～「西向日駅」間の連絡先) 075-381-2074
- 京都市営バス/洛西営業所 075-331-7821
- (株)ヤサカバス/上鳥羽営業センター 075-692-2360
- 阪急バス(株)/向日出張所 075-921-0160
- 阪急タクシー(株)/タクシー予約センター 075-922-3156
- 都タクシー(株)/無線センター 075-921-0038



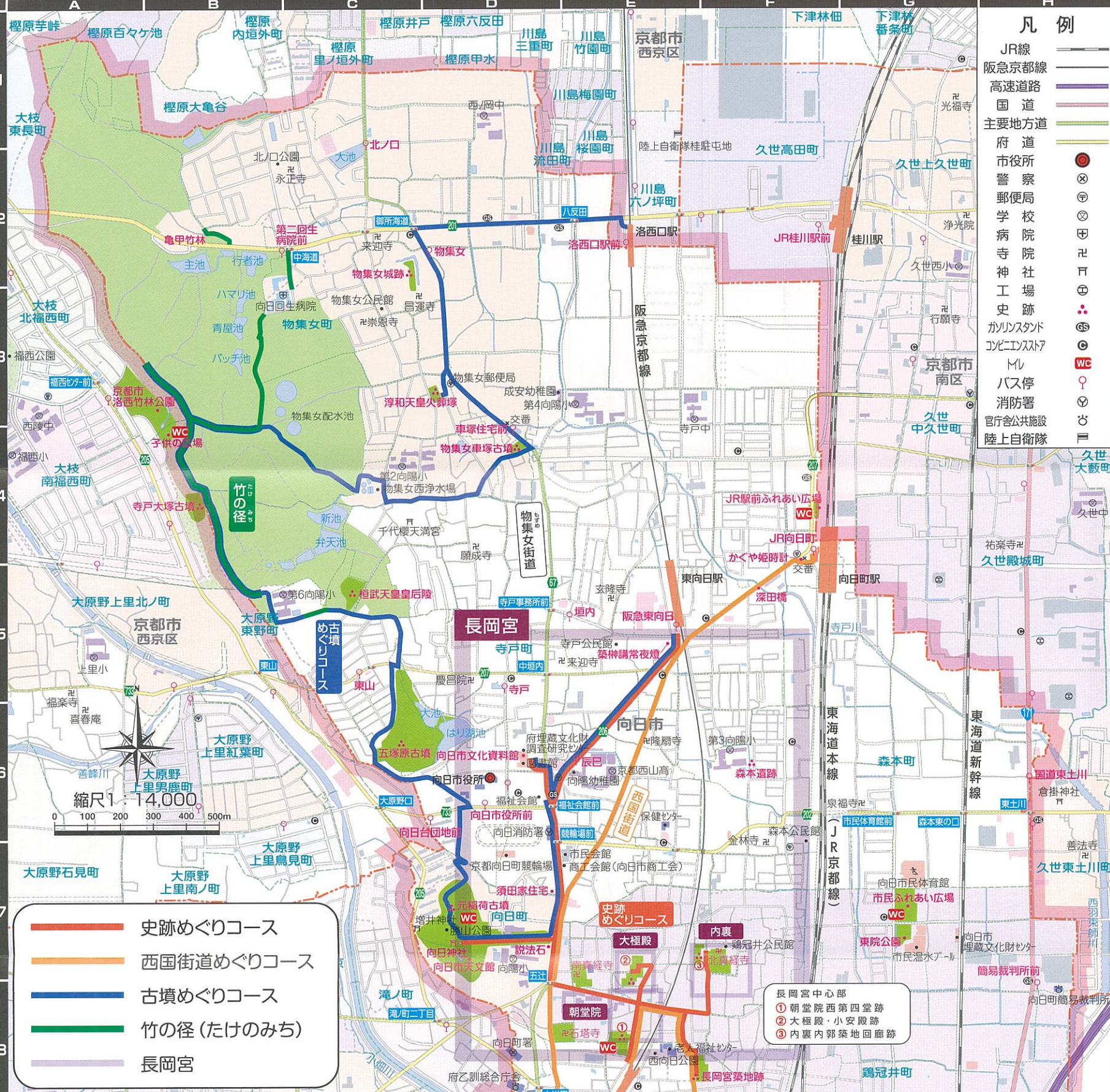
〒617-8665 向日市寺戸町中野20番地  
向日市観光協会 事務局(向日市産業振興課)  
TEL 075-931-1111(代) FAX 075-922-6587

ホームページアドレス  
市役所 <http://www.city.muko.kyoto.jp>  
観光協会 <http://www.muko-kankou.jp>

2013年3月第7版発行

たけの里・長岡京の都

京都 向日市 (むこうし)



### 凡例

- JR線
- 阪急京都線
- 高速道路
- 国道
- 主要地方道
- 府道
- 市役所
- 警察
- 郵便局
- 学校
- 病院
- 寺院
- 社
- 工場
- 史跡
- ガリナスタンド
- コンビニストア
- トイレ
- バス停
- 消防署
- 官庁舎公共施設
- 陸上自衛隊

### 物集女城跡 C-2-3

物集女町中条にある中世の城跡です。東側には、南北に約100mの長さで堀や土塁の一部が残っています。これまでの発掘調査により、南北75m、東西70mの規模を有する城であることがわかりました。

この城は、周辺を支配した物集女氏の居城と考えられ、長享元年(1487)の上久世庄(現・京都市南区)の古文書に、物集女四郎右衛門尉光重という名前も見受けられます。織田信長が山城方面を治めるようになる天正元年(1573)、桂川西岸一帯の支配を任せられた細川藤孝は、周辺の各城主に信長に従うよう命じました。しかし、物集女氏の当主忠重入道宗入はこれに従わず、天正3年(1575)に勝徳寺城において殺されてしまいました。これ以降、物集女氏と物集女城跡は文書などから姿を消したようです。



### 淳和天皇火葬塚 D-3

物集女町出口にある宮内庁跡です。淳和天皇は、長岡宮を築いた桓武天皇の第3皇子で、母は藤原百川の娘です。

兄の嵯峨天皇の後を継いで皇位を継承し、嵯峨天皇の第1皇子の仁明天皇に皇位を譲りました。在位中は、政治改革を行うとともに「日本後紀」の編纂、「令義解」の作成を行いました。承和7年(840)に55歳で死去し、遺言により火葬して京都市大原野の西山に散骨されました。こは天皇を火葬した場所とされています。



### 物集女車塚古墳 D-4

6世紀中葉の前方後円墳(全長約45m)。向日市内で唯一東西方向に築かれた古墳で、後円部は直径31m、高さ9m、前方部は幅38m、高さ8m。出土物には、埴輪・須恵器・土師器・馬具・刀剣類・装身具などがあります。

### 桓武天皇皇后陵 C-5

寺戸町大敷にあり、直径65m・高さ7mの円形をしています。長岡宮を築いた桓武天皇の皇后のお墓で宮内庁跡になっています。



### 向日市文化資料館 D-6

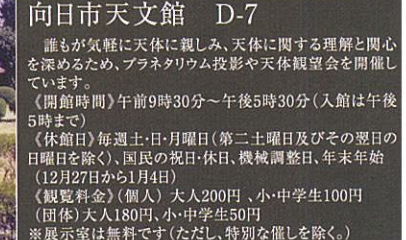
昭和59年開館。発掘調査により出土した長岡宮跡の遺物を中心に展示している。また、年に1度の特別展のほか企画展や各種の講演会等が行われています。

《開館時間》10時～18時(入館は17時30分まで)  
 《休館日》月曜日(祝日の場合は翌日及び翌々日が休館)、祝日の翌日、月末(資料整理日、土曜日又は日曜日の場合は次の火曜日が休館)、12月27日～1月4日  
 《TEL》075-931-1182 《FAX》075-931-1121  
 ※身体障がい者・乳幼児用トイレ有り



### 須田家住宅 D-7

屋号を「松葉屋」といい、明治30年代まで醤油の製造販売を営んでいた旧家です。西国街道と愛宕道の分岐点にあり、元禄2年(1616)に作成された古文書にも記載されている旧家で、京都府の指定文化財(建造物)となっています。



### 向日神社 D-7 (勝山公園)トイレ有り

社伝によると奈良時代・養老2年(718)の創建と伝えられるほか、「延喜式」(927成立)の神名帳に「向日社」として記載されている。本殿は、応永25年(1418)に建造されたものであり、室町時代に築造された三間社流造の本殿が国の重要文化財に指定されているほか、同神社所有の「紙本墨書『日本書紀』神代紀下巻」についても重要文化財に指定されている。

《向日神社 TEL》075-921-0217

### 向日市天文館 D-7

誰もが気軽に天体に関し、天体に関する理解と関心を深めるため、プラネタリウム投影や天体観望会を開催しています。

《開館時間》午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)  
 《休館日》毎週土・日・月曜日(第二土曜日及びその翌日の日曜日を除く)、国民の祝日・休日、機械調整日、年末年始(12月27日から1月4日)  
 《観覧料金》(個人)大人200円、小・中学生100円(団体)大人180円、小・中学生50円  
 ※展示室は無料です(ただし、特別な催しを除く。)  
 ※団体は20名以上です。  
 《TEL》075-935-3800 《FAX》075-935-4380  
 《URL》http://www5.ocn.ne.jp/~m-tenmon/  
 ※身体障がい者用トイレ有り

- 史跡めぐりコース
- 西国街道めぐりコース
- 古墳めぐりコース
- 竹の径(たけのみち)
- 長岡宮

### ウォーキングコース

史跡・旧跡めぐり	西国街道めぐり	古墳めぐり
阪急西向日駅	阪急西向日駅	阪急東向日駅
長岡宮朝堂院西第四堂跡	長岡宮朝堂院西第四堂跡	向日市文化資料館
長岡宮築地跡	長岡宮築地跡	元稲荷古墳(向日神社)
北真経寺	桜の径	五塚原古墳
長岡宮内裏 築地回廊跡	一文橋・歴史の道	桓武天皇皇后陵
長岡宮大極殿・小安殿跡	石塔寺	寺戸大塚古墳
南真経寺	説法石	竹林公園
説法石	須田家住宅	物集女車塚古墳
向日神社(元稲荷古墳)	築構講堂夜燈	淳和天皇火葬塚
向日市文化資料館	寺戸川(深田橋)	物集女城跡
阪急東向日駅	JR向日町駅	阪急洛西口駅



### 竹の径 B-2・3・4・5

(子供の広場)トイレ有り

全国で良質なたけのこの産地として知られている西ノ岡丘陵の竹林。「竹の径」は、この竹林に竹垣をはじめ古墳垣やかき垣などオリジナルを含めて、7種類の竹垣が整然と連なる全長約1.800mの竹林道です。市内外を問わず、散策など竹林浴の地として親しまれています。毎年10月下旬に行われる「竹の径・かき垣の夕べ」では、水うそくを浮かべた4,000本の竹灯籠を使って「竹の径」を照らします。

当日は、楽器の音色が響く夕陽深まる竹林がろうそくの優しい灯りに照らされ、幻想的な雰囲気に包まれます。また、竹・笹を主体にした回遊式庭園や竹の資料館などで構成された京都市洛西竹林公園(B-3)が隣接しています。〔「竹の径」は、国土交通省「手づくり郷土賞」受賞/日本ウォーキング協会「美しい日本の歩きなごころ道500選」などに選定〕



### 長岡宮朝堂院西第四堂跡 E-8

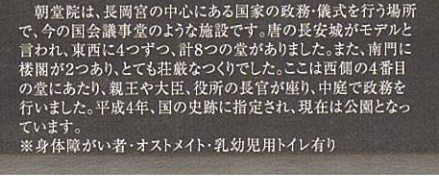
朝堂院は、長岡宮の中心にある国家的政務・儀式を行う場所です。今の国会議事堂のような施設です。唐の長安城がモデルと言われ、東西に4つずつ、計8つの堂がありました。また、南門に楼閣が2つあり、とても荘厳なつくりでした。ここは西側の4番目の堂にあたり、親王や大臣、役所の長官が集り、中庭で政務を行いました。平成4年、国の史跡に指定され、現在は公園となっています。

※身体障がい者・オストメイト・乳幼児用トイレ有り



### 長岡宮大極殿・小安殿跡 E-8

「大極殿」は、天皇が政治を司る都の中で最も重要な場所であり、「小安殿」は、大極殿の後ろの建物を意味し「後殿」とも呼ばれています。発掘調査により位置が確定された後、昭和39年に国の史跡に指定。現在では大極殿公園として整備され、毎年、11月11日には、長岡宮遷都を記念して「大極殿祭」が賑やかに執り行われています。また、1,200年以上前の建物の名称「大極殿」が、地名としてそのまま残っています。



### 一文橋 E-10

西国街道が小畑川を渡る地点に架かる橋です。小畑川は、墨川で、何度も洪水により橋が流されていたため、行人から一文づつを徴収して橋の架け替えの費用にあてたという伝承からこの名前がついたといわれています。